

## 県内小学生プログラミングアワード

# 杖先君(八千把小) グランプリ

県内の小学生がプログラミングのアイデアや表現力を競う「くまもとジュニア

プログラミングアワード」の最終審査が18日、熊本市中央区の県民交流館パレア



「くまもとジュニアプログラミングアワード」でグランプリを受賞し、本田清悟・熊日事業局長から表彰される杖先君

18日、熊本市中央区

であり、グランプリに八代市立八千把小6年の杖先君来君の「忘れずかんたんくすり箱」が選ばれた。来年3月にオンラインで実施される全国選抜小学生プログラミング大会に県代表として出場する。

2020年度に小学校の授業で必修化されたプログラミングへの関心を高めてもらおうと、熊日が初めて開催。一次審査を通過した15組が、「くまもとのみらい」をテーマに作品への思いや工夫などを発表し、本田清悟・熊日事業局長、熊本高専の荒木啓二郎校長、



杖先君来君

県教委の城井順一指導主事、熊本市教委の頼本真誠指導主事、県情報サービス産業協会の櫻木誠・青年部長が審査した。

杖先君は、母親が朝夜の薬を飲み忘れないようにするために発案。2つの箱に正しく薬をセットし、朝と夜に間違いなく取り出したかどうかを旗やブザー音でチェックできるプログラムを作った。審査員からは、目的が明確で思いやりが伝わる「シンプルな仕組みで、質実剛健さを感じる」などと高く評価された。

小学3年からプログラミングを学んだという杖先君は「少し自信はあったけど、グランプリになることがで

きてうれしい。全国大会に向けてさらに改善していきたい」と力強く語った。(藤山裕作)

### 入賞者名簿

入賞者は次の通り。(カッコ内は学校、学年。敬称略)

【グランプリ】杖先君来(八千把小)「忘れずかんたんくすり箱」

【東京エレクトロン九州賞】熊本の森ブラザーズ(森優翔〓帯山西6、森光希〓同4)「熊本の夏、ジメ暑に注意しよう！」

【特別賞】八幡咲良(隈庄6)「給食食べて料理を作ろうゲーム」

【優秀賞】向井悠(向山6)「会話お助けアプリ」、パイソンプログラム(廣田あい〓泉ヶ丘6、蠣原朋生〓託麻北6、上瀧数夫〓尾ノ上4)「水位・土砂くずれ検知装置」、田上田(合志南5)「みんなの健康と笑顔あふれる未来の公園」、八幡さくら(隈庄5)「ミニ拾いゲーム」

最終審査の動画をQRコードから視聴できます。